

2026年1月14日

鹿追町

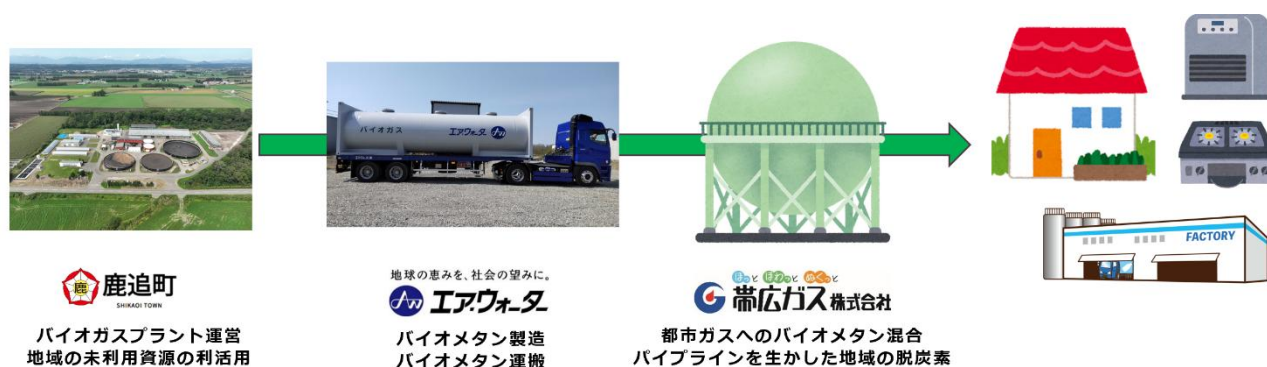
帯広ガス株式会社

エア・ウォーター株式会社

**鹿追町・帯広ガス・エア・ウォーターの3者で
バイオメタンの都市ガス混入に向けた共同検討を開始**
～ 国内初、カーボンニュートラルな国産エネルギーの地産地消モデルを構築 ～

北海道鹿追町、帯広ガス株式会社、エア・ウォーター株式会社は、鹿追町のバイオガスプラントで生成されるバイオガスを精製し、バイオメタンとして都市ガスに混入して供給する「地産地消型サプライチェーン」の構築に向け、3者での共同検討を開始しますので、お知らせいたします。

家畜ふん尿を原料にしたカーボンニュートラルな国産エネルギーであるバイオメタンの都市ガス導管への混入は国内では初の取り組みであり、十勝地域の豊富な未利用バイオマス資源を活用し、脱炭素社会の実現に貢献することを目指します。



バイオメタンを都市ガスに混入して供給する「地産地消型サプライチェーン」

記

1. 概要

十勝地域は畜産・酪農を中心とした農業が盛んで、家畜ふん尿や食品残渣など未利用バイオマス資源が豊富に存在しています。鹿追町ではこれらの資源を活用したバイオガス事業に早期から取り組んでおり、エア・ウォーターはバイオガスからメタンを抽出する技術やガスエネルギー分野に関する知見を有しています。また帯広ガスは地域向け供給事業者として、脱炭素化に資する地域エネルギーの確保を課題としています。

今回の3者連携により、地域資源を活用した再生可能エネルギーの地産地消モデル構築に向けた実現可能性を多面的に評価します。

2. 検討内容

本検討では、以下の項目を中心に協議・調査を進めます。

- ・ 鹿追町におけるバイオガス発生量、および未利用資源の把握
- ・ エア・ウォーターによるバイオガス精製（バイオメタン化）技術の適用性評価
- ・ 帯広ガスによる都市ガス導管へのバイオメタン混入に係る技術検証（ガス品質、圧力、安全性等）
- ・ CO₂削減効果の算定および環境価値の評価
- ・ 事業性評価、設備投資計画、3者連携スキームの検討

3者は、2026年度内の利用開始を目標に検討・作業を進め、事業としての実現可能性が確認できた段階で、実証事業の実施や設備導入に向けた次のステップを検討する予定です。

3. 各代表のコメント

鹿追町長 喜井 知己

「鹿追町内に賦存するバイオマス資源を活用するこのプロジェクトは、十勝の脱炭素に資する有意義な取り組みであり、少しでも貢献出来れば幸いです」

帯広ガス株式会社 代表取締役社長 内木 真紀衣

「地域の再生可能エネルギーであるバイオメタンを都市ガスの一部として活用することは、脱炭素社会の実現に向けた取り組みとして、重要なテーマであると捉えています」

エア・ウォーター株式会社 常務執行役員

エネルギーソリューショングループ グリーンイノベーションユニット長 西村 浩和

「当社のバイオメタン化技術とガスエネルギー分野での知見を活かし、地域資源を最大限に活用することで、持続可能なエネルギー供給モデルの構築に貢献してまいります」



左から帯広ガス内木社長、鹿追町喜井町長、エア・ウォーター西村

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

帯広ガス株式会社 総務部 総務課

E-mail : soumu@obigas.co.jp

エア・ウォーター株式会社 広報室

E-mail : info-h@awi.co.jp TEL : 06-6252-3966